

勢多だより

MAR
29, 2012

No. 92



「国際交流」

留学生との交流会「国際交流の夕べ」
外国人留学生等のバス研修旅行

- 新任教員紹介
- 定年教授のあいさつ
- 海外自主研修

CONTENTS

メインテーマ：「国際交流」

トピックス

- 01 留学生との交流会「国際交流の夕べ」
- 02 外国人留学生等のバス研修旅行

新任教員紹介

- 04 10月1日付 大学院医学系研究科修士課程看護学専攻 基礎看護学研究領域
高度専門職コース（看護管理実践） 教授 藤野 みつ子
- 05 12月1日付 生理学講座（統合臓器生理学部門） 教授 等 誠 司

定年教授のあいさつ

- 06 「教員生活を振り返って」 生命科学講座（生物学） 佐藤 浩
- 07 「定年を迎えるにあたり」 医療化学講座（哲学） 早島 理

キャンパスライフ

- 海外自主研修
- 08 カナダでの自主研修 医学科第4学年 竹本 早希
- 10 海外自主研修を終えて 医学科第4学年 岩本 久幸

図書館からのお知らせ

- 12 新・蔵書検索CanZo デビュー！
- 13 機関リポジトリ「びわ庫」リニューアル！

国立病院機構 滋賀病院だより

- 14 「ユニークな学生実習と研修を！」
総合内科学講座 教授 辻川 知之
- 15 「滋賀病院における 救急医療の現状」
総合内科学講座 准教授 五月女 隆 男

インフォメーション

- 18 第37回若鮎祭収支決算報告
- 19 平成23年度 研究動物慰霊式
- 20 学生入試広報スタッフ募集

編集後記（宮松編集長）

留学生との交流会「国際交流の夕べ」



平成24年1月11日に、本学福利棟食堂において、外国人留学生等との交流会「国際交流の夕べ」を開催しました。

交流会には、日頃、留学生等をご支援いただいているボランティアの方々をはじめ、関係教職員、アカベラサークルと管弦楽団の学生など総勢90名余が集いました。

今回は、留学生等からの発表として、カナダから来学した研究者による自国紹介のプレゼンテーションがありました。また、ケニアと中国の留学生は歌を披露してくれました。すばらしい歌声とリズムは、会場を大いに盛り上げ、参加者の一体感を醸し出してくれました。

また、中央の料理テーブルには、エジプト、ベトナム、インドネシアの留学生等の母国の手料理も並び、大変好評でした。

さらに、会場の一角には、留学生が撮影したバス旅行や着物姿の写真も掲示され、多くの参加者に見ていただくことができました。

交流会の最後は、参加者全員による恒例「琵琶湖周航の歌」合唱で、和やかな雰囲気の中、お開きとなりました。



馬場学長の開会ご挨拶



留学生による歌唱披露



参加者による「琵琶湖周航の歌」合唱



歓談のひとつとき



管弦楽団演奏「風のとおり道」他

外国人留学生等のバス研修旅行

平成23年11月3日から4日の2日間、愛知・静岡方面へ外国人留学生等の宿泊見学バス旅行を実施しました。服部副学長、相浦国際交流支援室長らの引率のもと総勢23名が参加しました。

今年の旅行は、留学生等から要望が多かった“富士山を見る”をひとつの目的として計画しました。

初日は、オープン間もないJR東海のリニア・鉄道館と、由比宿本陣跡の東海道広重美術館を見学しました。美術館では浮世絵の「刷り」を体験することができました。宿泊したホテルの夕食後の懇親会では「ふじさん(文部省唱歌)」をみんなで歌いました。



いざ出発



リニア・鉄道館見学



由比本陣付近にて



浮世絵「刷り」体験の作品を手に



ホテルでの夕食、「乾杯!」



懇親会にて、服部副学長



早朝の三保の松原散策



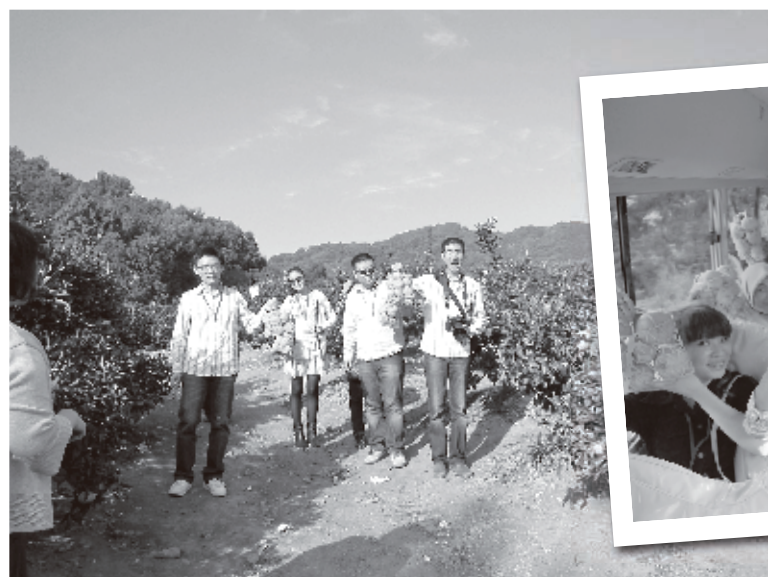
日本平にて、記念撮影



バスの運転手さんと共に



富士山を望む



蒲郡オレンジパークでのみかん狩り



カゴいっぱいのみかんに一同笑顔

看護管理実践



教授 藤野 みつ子

平成23年10月に、看護学専攻高度専門職コース「看護管理実践」大学院教授を拝命いたしました。

私は、平成18年4月に看護部長に就任し、翌年、平成19年4月から6年間の任期制の看護部長となり、現在に至っております。

就任当時の「私の所信表明」をご存知の方は皆無であろうと思います。昨年度滋賀医科大学看護学ジャーナル編集部より看護部長に就任してからの4年間のREFLECTIONについて、原稿依頼をいただきました。その執筆は、所信表明からの残りの任期中に果たすべき役割と進むべきいくつかの方向について再考する機会となりました。そこで明確になった課題のひとつは、滋賀県下唯一の大学病院としての看護領域における教育的役割の遂行でした。そのような折、看護学科看護学専攻高度専門職コース「看護管理実践」を設置すると

いう決定がなされました。看護管理実践家の部分を評価していただき、教授拝命に至ったのでした。

このコースは、病院などの施設で勤務する看護管理者の実践力の育成を目的としています。看護学科足立みゆき教授と協同で担当し、臨床と教育研究のユニフィケーションとして実現しました。これは、看護部長職と大学院教授を兼任するという“臨床看護の実践家と教育者の一体化”であり、おそらく全国でも初めての試みです。

激動の医療界にあつては、旧態依然として依存型の看護部長では、病院の運営は成り立たなくなっており、果敢に看護部職員を引いていく強いリーダーシップが求められています。さらに、理論的分析やデータを駆使しながら、業務改善や経営に手腕を発揮することが求められています。そのような今どきの看護管理者を育成したいと思っています。そして、看護管理者が、待ちに待った大学院教育の場そのものにすることが、私に課せられた課題でもあるように思っています。

今後とも、皆様のご協力とお力添えを賜り、全国に向けて、特徴ある大学院教育として、成果を発信していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

経歴

1981年4月 滋賀医科大学医学部附属病院看護師
2002年3月 滋賀医科大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻修了（看護学修士授与）
2003年4月 滋賀医科大学医学部附属病院教育担当副看護部長
2004年4月 日本看護協会認定の認定看護管理者
2007年4月 滋賀医科大学医学部附属病院看護部長兼副病院長

2010年4月 三重大学医学部医学系研究科看護管理非常勤講師（兼）
2011年10月 滋賀医科大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻基礎看護学研究領域高度専門職コース（看護管理実践）教授（兼）

統合臓器生理学部門



教授 等 誠 司

平成23年12月1日付けで統合臓器生理学部門(旧・第一生理)を拝命いたしました。滋賀は初めての土地で、不慣れな部分も多々ありますが、皆様のお力添えを賜りまして、大学の発展に貢献できればと思います。

私は東京大学医学部を卒業後、内科研修に引き続いて万年 徹教授の主宰する神経内科に入局し、神経内科専門医を取得しました。その後、大学院に入って研究をスタートさせましたが、テーマは自己免疫性末梢神経障害患者の血清中に出現する糖鎖に対する自己抗体の同定や、糖鎖生合成を司る糖転移酵素遺伝子のクローニングと解析などで、臨床と密接に関係したものでした。この頃は、後に基礎研究の道に進むことは理想だにしておりませんでしたし、現在も研究テーマにしている神経幹細胞についてはその言葉も知りませんでした。留学について当時の東大神経内科教授の金澤一郎先生にご相談した際、脳の再生医療について考えてみよと勧められ、脳の再生のためには神経幹細胞の知識と技術が不可欠と考え、トロント大学Derek van der Kooy

教授の許に留学しました。

神経幹細胞の研究は、丁度トピックスになり始めた(もしくは加熱し始めた)頃で、新着雑誌を開くたびに斬新な結果やアイデアが眼に飛び込んでくる状態で、自身の研究も非常にエキサイティングでしたが、一方で、失われた神経細胞の再生の困難さも痛感いたしました。神経細胞のもつ領域特異性や神経伝達物質サブタイプ特異性を再現し、周囲の神経ネットワークからポジティブ・ネガティブフィードバックなどの情報のインプットを受け、適切な標的細胞に情報をアウトプットするという、複雑なステップごとに大きな壁があるチャレンジングなテーマだと思っています。

帰国後は、東京大学神経内科(辻 省次教授)で助手・医局長として臨床に尽力いたしましたが、基礎研究への思いは捨てがたく、生理学研究所・分子神経生理部門(池中一裕教授)にて、本格的に神経幹細胞の基礎研究を行って参りました。この度、陣内皓之祐教授の後を襲って、滋賀医科大学・統合臓器生理学部門を担当する機会をいただきましたので、これまで培ってきた神経幹細胞に関する知識と経験に、さらに生理学的な手法を融合させ、障害を受けた脳を再生させることを夢見つつ、地道な基礎研究を行っていきたくと存じます。

大学時代はバドミントンに傾注しておりましたが、卒後はやや遠ざかっていました。生理学研究所に赴任した折に、地域のバドミントンサークルに加えていただいたのですが、1ヶ月でアキレス腱を切り、それまで意識していなかった年齢を実感いたしました。もとより微力ではありますが、でき得る限り教育と研究に邁進していきたいと存じます。皆様の温かいご支援と、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

経歴

1988年3月 東京大学医学部医学科卒業

1993年5月 神経内科専門医

1997年3月 東京大学大学院博士課程修了。医学博士

1997年4月 理化学研究所・基礎科学特別研究員

1999年9月 トロント大学に留学

2001年9月 東京大学医学部神経内科助手・医局長

2003年9月 生理学研究所・分子神経生理部門准教授

2011年12月 滋賀医科大学・統合臓器生理学部門教授

教員生活を振り返って



生命科学講座（生物学）

佐藤 浩

平成2年に愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所から、生物教室に助教授として着任しました。平成11年からは土井田幸郎先生の後任として生物学の教授を担当させていただきました。社会人としての素養に欠けた私が、なんとか定年をむかえることができたのは、大勢の教職員と学生の皆さんに助けていただいたお陰と感謝しています。ありがとうございました。

任期中は、ヒト・ゲノムの解明など医学が大きく変化する時期と重なっていました。準備教育としての生物学は、遺伝子研究をもとにした生命の理解と、他の生物と比べた人間の特徴を学ぶことが重要と考えてきました。前者に関しては「エッセンシャル細胞生物学」を使った講義を行いました。わかりやすい講義ができなかったことが心残りです。後者に関しては実習で比較解剖をおこないましたが、非常勤の先生に人間を中心にした進

化の講義をお願いすべきでした。課外活動の柔道部顧問では、心身ともに健やかな若い人達に教室外で接することができました。

準備教育が中心で、研究を続けることは難しいと覚悟して赴任しましたが、研究テーマが黄疸の遺伝子でしたので、多くの先生と研究ができ幸運でした。任期前半は国内外の体質性黄疸の患者の遺伝子の解析をおもに行いました。後半では、黄疸遺伝子は個人差の大きな遺伝子であり、同時に薬の代謝にも関わっていましたので、遺伝子の個人差による薬の副作用の研究を行いました。出発点の新生児黄疸研究に任期の最後に、小児科の先生方の研究により39年ぶりに回帰できました。任期中には14名の大学院生の研究に参加させていただきました。大学院生との研究以外にもいろいろな講座の先生と研究をさせていただきました。なかでも、生体肝移植を行われた小澤和恵先生の生活を数年にわたって間近に見せていただく機会に恵まれたことは貴重な経験でした。先生の研究スタイルと折々のお話は深く心に残るものでした。

妻の両親と愛知県で同居していたせいもあり、一週間分の「冷凍食事」をリュックで背負って通う23年間の単身赴任でした。定年後は愛知の私大で教えながら、家事に精をだします。本学で42歳から65歳まで、優れた同僚と聡明な若い人達に囲まれて過ごすことができた幸運に感謝しています。社会も大学も変革の時期にあり、本学にはこれからもチャンスが続くと思います。滋賀医科大学のさらなる発展を愛知から祈っております。

定年を迎えるにあたり



医療文化学講座（哲学）

早 島 理

2000（平成12）年4月に前任の長崎大学から滋賀医科大学に赴任しました（1年間は併任）。担当は哲学ですが、赴任と同時に当時の教育担当副学長狭間章忠先生から、赴任時の1回生が3回生になる時に「医の倫理」を開講するようにとの指示がありました。学内の先生方にご協力をいただき、また他大学の医学部で開講されている「医の倫理」の講義内容などを参考にして2002年度から「医の倫理」を開講することができました。非常勤講師の任用にあたり、特に臨床倫理を専門とする先生を遠方の大学（九州、関東）から招き、あるいは緩和医療チームで実践活動中の僧侶の方に依頼する、あるいは「医の倫理 III」（医学科4回生）と「宗教学」（看護学科4回生）の合同講義を開講するなど、既定の枠に囚われず滋賀医科大学独自の「医の倫理」を自由に構築することができました。

また「医の倫理」の開講とともに、医学科1回生「医学概論Ⅰ・Ⅱ」の世話人の大役が回ってきました。特に本年度（平成23年度）から、よりよき医療人の育成をめざし、医学・看護両学科さらには本学事務担当者の協力を得て、医学科「医学概論Ⅰ」と看護学科1回生「看護学原論」との合同講義（前半7回）、ならびに医学科1回生「早期体験学習」と看護学科1回生「基礎看護学実習Ⅰ」の合同実習を実施することができました。

このような、医学科、看護学科の枠組みを超えた専門科目の合同講義・実習の実施は、全国の医学系大学でも希な取り組みと思われます。これも狭間先生を始め歴代の教育担当副学長（馬場忠雄現学長、服部隆則

現副学長）のご理解とご支援のお陰に他なりません。お礼申し上げます。

私の本来の研究領域はインド仏教学、特に瑜伽行唯識学派の文献学的研究です。本学での良き研究環境に恵まれ、自分の研究に専念することができました。そのお陰でこれまでの研究をまとめ、「『顕揚聖教論』の研究」で2004年に広島大学から学位（博士、文学）を取得することができました。『顕揚聖教論』はインド大乘仏教瑜伽行唯識学派の思想を完成したとされるアサンガ（無著、375-430頃）の主著の一つですが、玄奘による漢訳一本しか現存しないため、夙にその重要性が指摘されながら解読研究が進まなかった書物です。この著作と同時代の若しくは先行する、梵本やチベット語訳が残存する他の諸文献に散見されるパラレルパッセージを拾い集め、その解読を通じて『顕揚聖教論』全体の解読研究を進めてこの書物の思想体系を明らかにし、思想史上の位置付けを明確にすることができました。

さらに学位論文の副産物ともいべき、同じくアサンガの『大乘阿毘達磨集論』とその注釈書『大乘阿毘達磨雜集論』の、梵文・チベット語訳・漢訳の三本対校版を科研費で出版し、本学のHPで公開することができました。有り難いことです。

もう一つの研究分野である生命倫理では、2009年11月に「第28回 日本医学哲学・倫理学会学術大会」を大会長として本学で開催することができました。生命倫理学関連の全国学会の開催は本学では初めてとのことで躊躇しましたが、馬場学長をはじめ、多くの先生方や学生諸君、事務の皆さんや生協の方々など文字通り全学を挙げてのご支援をいただき無事開催することができました。

「大過なく」という言葉があります。本人が気づかないだけで、小や中の過失のみならずあれこれ大過をしでかしてきたと思われれます。それにもかかわらず、教職員の方々や学生諸君の温かいサポートのお陰で、定年を迎えるまでの年月を滋賀医科大学で居心地良く過ごすことが出来ました。皆様方のご厚情に改めてお礼申し上げます。

法人化のあと、全国の大学は変革の時代に突入しました。国立の医科単科大学という特色を發揮し、滋賀医科大学がますます発展いたしますようお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

海外自主研修

カナダでの自主研修

医学科第4学年 竹本 早希

私は8月26日から9月20日までの約3週間、野瀬文乃さんと共にカナダブリティッシュコロンビア州バンクーバーにある St Paul's Hospital 内の UBC iCapture centre にて自主研修をさせていただきました。大変貴重な経験をさせていただき、たくさんの思い出ができました。その3週間の生活を簡単ではありますが紹介させていただきます。

・準備

今年から、学内での2週間の実習を海外研修に先駆けて行うことになりました。学内での2週間の実習は、カナダでの実習につながるようなことをしたいと思った私たちは、iCapture centre を紹介して下さった中野恭幸先生の助言もあり、分子診断病理学講座の研究室にお世話になることになりました。

ここでは、カナダでやることになってでもできるように、HE染色、免疫染色、病理写真のとりかた、組織の切り出しなどの手技を丁寧に親切に教えていただき、また病理解剖や、臨床の先生とのカンファレンスにも参加させていただきました。カナダでは組織染色や切り出しをしたので本当に助かりました。この2週間の実習も貴重な経験ばかりで本当に楽しかったです。



iCapture centreの入り口にて



CT画像研究室で

・研修

研修させていただいた iCapture centre は、University of British Columbia の研究機関で、呼吸器循環器の研究を行っています。私たちは、その中の研究室をいくつか廻り、研究に必要な手技を学び、また COPD や肺癌などの肺疾患に関する研究の背景を学んできました。

Western blot や Cell culture、PCR、気道組織の切り出し、HE染色、免疫染色などから大腸菌の DNA 抽出、肺の CT 画像の3次元化まで本当に色々な手技を学びました。また、動物実験にも関わらせていただきました。

手技もちろんですが、研究者のみなさんの考えを拝見することができてとても勉強になりました。研究というのは、結果が出るまで本当に長い道のりがあって、自分とのたたかいでもあるな、と感じました。また、私が廻った研究室はどれも肺疾患の治療法を見つけ出すためにつながっていて、そういった日々の研究があるからこそ臨床も医学も進歩していけるのだな、と肌で感じました。

iCapture centre の先生方は、カナダはもちろん、インド、モロッコ、日本など世界中からいらっしやっていて、私たちにも聞きやすいように英語をゆっくり話してくださり、言い直してくださり、また美味しい店を教えてください、ご飯に連れて行ってくださりと本



日本人の先生方と韓国料理店にて

当に親切に接していただきました。日本人の先生方には、歓迎会やお別れ会をしてくださったり、散歩に連れて行ってくださったりと大変お世話になりました。

文化面で印象的だった出来事が Lunch time の持ち寄りパーティーです。世界各国出身の先生方が自分の国の料理を作って、自分の国の服を着て楽しむ会でした。私たちもごちそうになったのですが初めて食べるものも多くて、新鮮で楽しかったです。世界中から人が集まる Vancouver ならではのなと思いました。

・生活

私たちの 3 週間の生活はホストファミリー抜きでは語れません。去年に引き続き私たちを受け入れてくださったのは、Feuchuk 家のみなさんです。後半からは日本から野球留学に来た少年も一緒にホームステイしていました。遊園地に行ったり（中学生 Natasha は本当に怖いもの知らずでたくさんの絶叫系と一緒に乗りました…）、買い物に行ったり（ママ Tessa は買い物好きで一緒によく行きました!）、連休には旅行に行って貸別荘を借りて過ごしたり、長男 Erik に映画に連れて行ってもらったりと本当に書ききれないくらい毎日色々なことをさせてもらいました。

家ではパパ Danny が美味しいごはんを作ってくれて、食後には毎日アイスクリームやハロハロを食べ



旅行先のレストランでホストファミリーと

ていました。

家でも英語に親しむことができ、毎日楽しい話をしてくれて、英語への不安は感じないくらい楽しかったです。本当にホストファミリーには感謝してもし尽せません。

研修生活は、毎朝電車とバスで iCapture centre へ通い、研修をし、夕方街をぶらついて家に帰る、といったような生活でした。バンクーバーは移民の街といわれるだけあって、文化面において本当に寛容な街だなと感じました。私たちも現地の人と間違えられて道を普通に聞かれることが何回もあるくらいでした。料理屋も韓国料理、マレーシア料理、地中海料理、日本料理（ラーメン屋さんまで!）など世界中の料理屋があってどれも美味しくて食に困ることはありませんでした。

また、研修終了後 2 日間モントリオールに行きました。バンクーバーとは対照的に古い建造物や石畳の道など歴史を感じる街並みが多くこの街もとても気に入りました。

海も山もあって、歴史もありつつ世界中の文化に寛容な国カナダが大好きになりました。



ホストファミリーと

・自主研修をとおして

カナダでの自主研修は本当に充実していました。たくさんの人に出会い、たくさんの方の協力があったからこそこの充実感だなと感じています。3 週間という短い期間でしたが、自分の視野も広がり、将来の道を選ぶ上でも非常にいい経験になりました。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった中野恭幸先生、相浦先生、学内実習でお世話になった分子診断病理学の杉原先生、向所先生をはじめとする皆様、iCapture centre の方々、そしてホストファミリー、一緒に 3 週間すごした野瀬さん、研修に関わってくくださった全ての皆様から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

海外自主研修(アメリカ・マウントサイナイ医科大学)を終えて

医学科第4学年 岩本久幸

私たち(岩本久幸、上野大輔、古閑愛理)は昨年の夏の海外自主研修で、アメリカ・ニューヨーク州のマウントサイナイ医科大学の移植外科を見学しました。



マウントサイナイ医科大学

マウントサイナイ医科大学での研修を希望した理由は、学生の中に移植部門の医学を見てみたかったということと先進国医療現場の現状を知りたかったからでした。また、マウントサイナイ医科大学はニューヨーク大学の提携校でもあり規模も大きく、ニューヨーク有数の病院であるということもあり、ぜひ行ってみたいということでした。

研修までの連絡や研修中はマウントサイナイの移植外科に勤務しておられる本学卒業生の十川先生にお世話をいただき、2週間半の間に非常に濃密な時間を過ごすことができました。

ニューヨークに到着した日にニューヨークにハリケーン・アイリーンが上陸しホテルに缶詰になるというトラブルもありましたが、運よく私たちの宿泊していた地域ではあまり大きな被害もなく、無事に研修を開始することができました。

研修では、最も貴重かつ興味を持った体験はドナーとレシピエントの双方の手術を並行してする同時肝移植でした。日本で私たちの

ような一学生がなかなか見学することができない諸術を、終始間近で観察できたことはとても重要な体験で、肝を取り出すのに必要な手順を学び、実際に見ることができ、手術時間は約10時間で、一度目は同時肝移植を、二度目はレシピエントの手術のみ(ドナーの肝臓は他病院から輸送されてきた)でしたが、ドナーの肝臓を移植しやすいように処置する様子は、糸の一本一本が見えるほど、詳細に見ることができました。

また、診察の様子も、医師と患者のやりとりを同室で見学することができ(契約の中で、患者と会話することは禁じられていた)日本よりもフランクに感じられる診察の様子が見られました。ここで見学した診察は小腸移植と肝臓移植患者の術後経過および、手術の適応となる患者との術前のインフォームドコンセントでした。

アメリカにいる間の研修の一日の主な流れは朝6時より、朝の回診に向け患者のカルテの確認などの準備、7時より回診、その後診察の見学または、手術見学、午後に空き時間があれば、午後の回診(肝臓あるいは、小腸)に参加、週末に十川先生とのディスカッション。

その他に、ランチミーティングでの、病理学講座の医師による、術後生検の重要性についての講義を受けたりもしました。



メトロポリタン美術館



セントラルパーク、映画のワンシーンでよく使われます。

また、当初私は先進国の医学を学ぶことを最大の目的としていましたが、今回の研修で最も印象的だったのは、アメリカの医療システムが日本と異なること、アメリカの社会制度や文化の違いに適応したさまざまな体系があることを学べたことでした。

そして、研修のない日などにはニューヨークの観光もできました。ニューヨークの学校の近くにはメトロポリタン美術館や自然史博物館、セントラルパーク、宿泊先の目の前にはタイムズスクエアもあり、海外からの観光客も多くとても賑わっていました。

その他にも地下鉄に乗って、エンパイアステートビルや自由の女神像などいろいろな観光地やショッピング街にも出かけることができたのですが、それも私たちが研修を疎かにしていたわけではなく、マウントサイナイでの医師の仕事は日本よりも朝の開始時間が早く、日が沈むころには手術も終わることが多いため、研修の始まりは朝7時前から始まることもありましたが夜にはすべて終わるようになっていたからでした。そのおかげもあり、私たちは街に出てニューヨークの名所を廻ることができました。

まだ日本でも病院での研修を済ませていない自分たちが海外の病院で学べることがあるのか最初は不安なことも多く、また実際に研修が始まっても言葉の壁や、システムの違いなどで戸惑うこともありましたが、全体を通して振り返ってみると勉強の面でも、環境や人との関わりの面でもとても有意義な海外研修でした。最後になりましたが、私どものような一学生がこの海外での病院研修を実現するにあたって、様々な相談に乗っていただいたり、その他にもお世話になりました医療文化講座教授の相浦玲子先生、解剖学講座准教授の相見良成先生に厚くお礼申し上げます。



研修中レジデントとして九州大学から来られていた原田先生と。

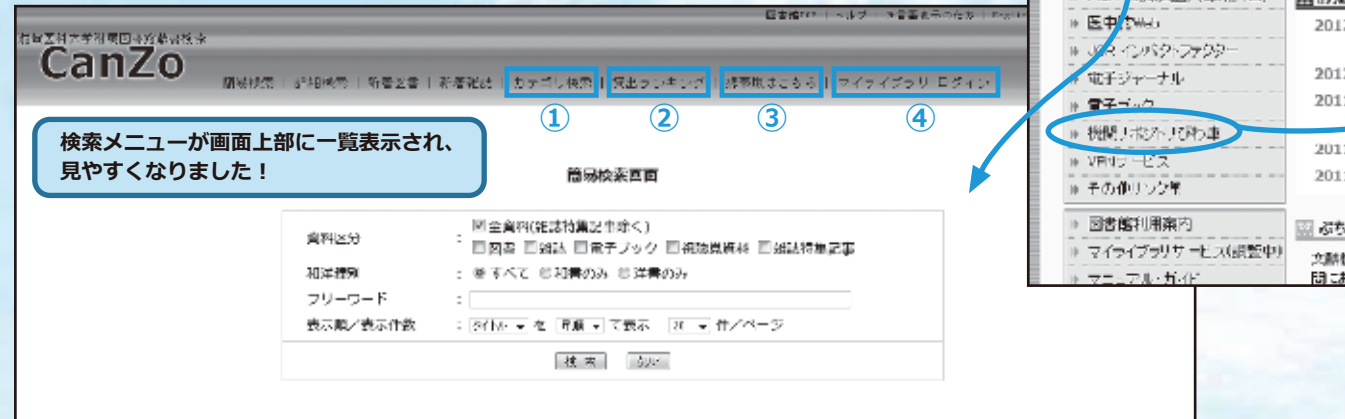


研修後、十川先生とニューヨークの焼肉店で食事をしました。

新・蔵書検索CanZo デビュー！

図書館システム更新に伴って、2月20日(月)に
新・蔵書検索 CanZo (カンゾー) がデビューしました！
従来の検索だけでなく、新しい機能も追加！
今回は、新機能の一部を紹介します。

新URLはこちら <http://opac.shiga-med.ac.jp/opc/>



①カテゴリ検索

シラバス掲載図書や先生方の寄贈図書、図書館で開催している企画展示資料などが一覧できます。
企画展示の内容も表示できるようになりました！

②貸出ランキング

図書館で所蔵している図書を対象に、
月毎の貸出ランキングベスト 50 まで
が表示されます！
さて、滋賀医大図書館では
どんな本が人気でしょうか・・・？

順位	書名	冊数
1位	『1000の疑問』	1000冊
2位	『心臓のしくみ』	800冊
3位	『心臓のしくみ』	750冊
4位	『心臓のしくみ』	700冊
5位	『心臓のしくみ』	650冊
6位	『心臓のしくみ』	600冊
7位	『心臓のしくみ』	550冊
8位	『心臓のしくみ』	500冊
9位	『心臓のしくみ』	450冊
10位	『心臓のしくみ』	400冊

③携帯版 サイト

検索だけでなく、貸出中図書の予約や更新ができるようになりました！
自宅にパソコンが無くても、忙しくて図書館に来る時間がなくても、
携帯版サイトから手続きできます。これでもう安心！
QR コードで簡単にアクセスできます。

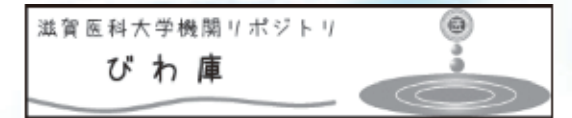
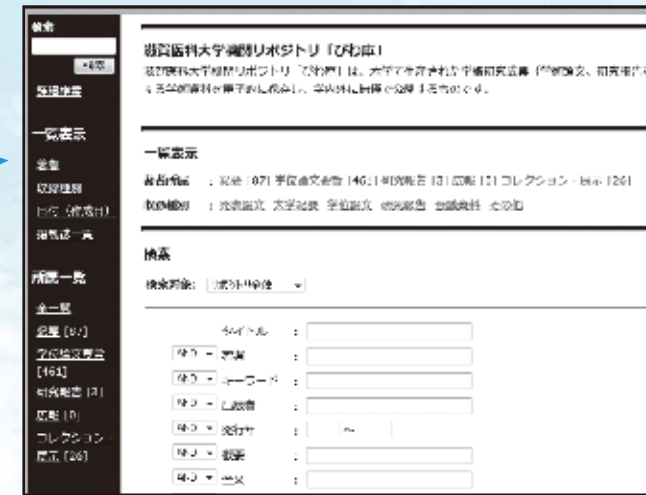


④マイブラリ ログイン

貸出中資料の確認や更新、予約手続きはこちらから！
文献複写の取り寄せ依頼についても確認いただけます。

CanZo についてのお問い合わせは、附属図書館情報サービス係までお願いします。
TEL : 077-548-2080 / E-mail : hqjouser@belle.shiga-med.ac.jp

機関リポジトリ「びわ庫」リニューアル！



「びわ庫」の利用はこちらから
<http://repository.shiga-med.ac.jp/>

Q1. 「機関リポジトリ」って何ですか？

A1. 「機関リポジトリ」とは、大学の教育・研究など様々な活動を通してつくられた資料を電子的に保存し、公開するシステムのことで。

附属図書館は、図書や雑誌・映像資料など教育・研究・診療のために必要な資料を収集し、誰でも利用できるように整備しています。近年、電子ファイルの資料が増えてきましたので、これらの資料を収集し、長期にわたって確実に保存するとともに、必要な時にいつでも利用できるようにするため、機関リポジトリをつくっています。

Q2. どのようなものが利用できますか？

A2. 博士論文の要旨310件(2002~2010年度に授与されたもの)、修士論文の要旨141件(1999~2010年に授与されたもの)が利用できます。引き続き、最新のものと過去のものに遡って入力を進めています。

この他にも紀要、科学研究費報告書の概要などの登録を進めています。登録を始めたばかりですので、データベースとしてはまだ小さなものですが、今後大きく育てていく予定です。

Q3. 他の大学ではどうなっていますか？

A3. 国内では197機関で機関リポジトリがつけられています。JAIRO (<http://jairo.nii.ac.jp/>) や国立国会図書館サーチ (<http://iss.ndl.go.jp/>) を使うと、他大学の情報も一度に調べることができます。

機関リポジトリをつくる動きは欧米ではじまりました。海外の機関リポジトリも含めた資料の検索には、OAIster (<http://www.oclc.org/oaister/>) が便利です。

「びわ庫」についてのお問い合わせは、附属図書館情報管理係までお願いします。
TEL : 077-548-2079 / E-mail : repository@belle.shiga-med.ac.jp

国立病院機構 滋賀病院だより

東近江医療センターで ユニークな学生実習と研修を！

滋賀医科大学総合内科学講座 教授
(国立病院機構滋賀病院 副院長)

辻川 知之



国立病院機構滋賀病院は名神高速道路八日市インターを降りてすぐに位置しており、滋賀医科大学から車でのアクセスは非常に良いところです。平成25年4月から新病棟が稼働し、320床の東近江医療センターとして名称も新たにスタートします。現在の病院スタッフは滋賀医大4期生の井上修平院長を筆頭に、来見副院長と私を含め滋賀医大出身のドクターが多くを占めています。私たちは東近江の地域医療を立て直すため、平成23年4月から滋賀医科大学総合内科学・総合外科学講座の一員として出向しました。以来、整形外科、産婦人科や皮膚科なども常勤医を迎えて病院スタッフも充実しつつあります。平成23年1月現在、外来患者数は毎日330人以上、入院患者数も150人を超えており、地元住民の方々や開業医の先生方のニーズに少しずつ応えられるようになってきました。

総合内科学・総合外科学のもう一つの使命は研修医教育・医学生教育です。現在、年間数名の初期研修医が、自由選択枠や地域医療枠として最大2か月研修を受けています。総合内科を中心とした研修の特徴は、将来の専門領域は深く追求しながら、かつ幅広い一般内科の研修を同時に行うというシステムです。このユニークなシステムを継続するには医師同士のコミュニケーションや医学知識の共有が必須であるた

め、研修医・内科系スタッフ全員参加で毎朝8時20分からミニレクチャーと救急・入院カンファレンスを行っています。さらに、研修医の先生方には救急対応を学びながら、興味ある専門領域は重点的に研修できるよう、希望に応じた時間配分をしています。研修医にとって携わる分野が幅広くなりますので、少しでも問題解決の手助けとなるよう研修医全員にiPad 2を配布し、ダウンロード版参考書・ガイドラインや院内無線LANを介した文献検索を可能にしています。

今年4月からは2週間毎の医学生臨床実習もいよいよ開始されます。現在、来見教授を中心に具体的な実習計画を作成中ですが、その基本概念は1)滋賀医大での臨床実習とは異なるスタイルで、2)Student Doctorの称号を生かした可能な限りの医療参加、です。すなわち、少なくとも見学型ではなく、積極的な参加型臨床実習を目指していますので、学生から見れば学びつつ自らも手伝う臨床実習を、指導医から見れば学生も医療スタッフの一員として共に患者さんを診ていく、ことを理想としています。

最後になりますが、地域医療再生にとって最重要課題の一つは救急医療の充実です。また医学生や研修医教育にとって強烈なインパクトを

放つのは、救急医療実習だと思います。次項にて五月女准教授(国立病院機構滋賀病院 救急科医長)に滋賀病院における救急医療・教育ついて解説をお願いしていますが、皆さんお解りのよ

うに救急医療には若い力の協力が不可欠です。東近江地区救急医療を支えるために臨床実習学生はもちろんのこと、多くの研修医が参加してくれることを期待しています。

国立病院機構滋賀病院における救急医療の現状

総合内科学講座 准教授
国立病院機構滋賀病院 救急科医長

五月女 隆男



東近江医療圏の救急医療再生のため、平成23年4月1日付けで国立病院機構滋賀病院に救急科が新設され、この地域の救急医療活性化の起爆剤となることを目標に日々努力しています。現在われわれが行っている救急医療をふりかえり、目指す将来像について考えてみたいと思います。

救命救急センターや滋賀医科大学附属病院救急部での活動をご存じの方々には若干、想像のイメージングスイッチを切り替えて考えていただくことが必要です。滋賀病院救急体制は、大学病院のように専任スタッフがレジデントとともに24時間対応することは不可能であり、ウィークデイの日勤帯のみ救急専従スタッフが診療にあたります。この時間帯は内因性救急、外傷救急を問わず救急科専門医1名で対応します。したがって、救急医一人でも高次医療を提供することはもちろんのこと、幅広い対応能力が求められます。ただし、全国的にみても交通外傷が年々減少し、内因性救急が70%近くを占めるようになった現在、内科専攻医ゆえの利点も多くあります。もちろん、緊急の外科的処置が必要な場合は外科専門医、整形外科専門医の先生方の手をお借りして対応することになりますので、大規模病院にはない緊密な連携が最も生かされる瞬間で

す。滋賀病院は名神高速道路八日市ICに隣接しており、彦根ICから竜王ICまでの交通事故や近くのSAからの救急搬送もあります。また、遮断機のない踏切が多い近江鉄道も近隣を走っており、電車vs.自動車の事故もあります。本来、外傷救急となると内科医の先生方はぞっとするものですが、外傷診療手順を習得するコースを受講し、実践することにより嫌悪感は和らぎます。外科医先生方にとっても外傷救急は特殊な分野でありましたが、当病院の外科の先生にもコース受講していただくことにより、外傷救急に興味を持っていただけるようになりました。

さて、現状ですが2011年度は表1、図1にみられるように、救急搬送数は徐々に増加しています。11月にはようやく搬送数が100名に到達しました。また、CPAの搬入数も増加しており、2010年度には15症例であったものが、10ヶ月間で42例に達しています。超高齢化社会を迎え、東近江地域の救急搬送数は増加する一途であったにも関わらず、この数年間は全く貢献できていなかったことを反省し、今後も他医療機関のみならず、救急隊とより緊密な関係を構築することにより、更にステップアップしたいと考えています。

救急症例数の増加に伴い、一つ新たな問題が

表1. 2011年度救急搬入数

	救急搬入数	2010年度	救急入院数	CPA	2010年度
4月	56	24	51	4	0
5月	71	18	68	3	0
6月	70	27	56	3	1
7月	88	20	53	3	1
8月	89	31	65	2	0
9月	75	15	56	0	1
10月	82	24	68	8	0
11月	100	30	68	5	1
12月	101	33	70	6	4
1月	92	50	48	8	3
2月		40			2
3月		50			1
計	824	362	603	42	14

発生しました。緊急放射線読影の問題です。これは医療過誤にも直結する大問題ですので、避けて通るわけにはいきませんでした。当院は放射線科の常勤医は居出先生1名のみで、平日昼間は緊急を含め日々読影、interventionに活躍されています。一方、夜間の救急当直は外科系1名、内科系1名の体制で救急車搬入、walk in症例に対応していますが緊急の読影が不可能であったため、昨年夏より難しいCT読影など放射線専門医の読影を必要とするものはon lineで居出先生に画像を転送し、24時間読影可能なシステムを構築しました。居出先生のご厚意で成り立っているシステムですので、今後の放射線科医の増員は必要と思われます。

当病院に搬送される患者年齢層はいくぶん高めです。老人ケア施設からのCPAや誤嚥・窒息といったものはもちろん、敗血症を呈する症例もあります。重症症例にはバックアップユニットとして5床を有していますので、急性期呼吸管理、急性血液浄化をふくむ集中治療が可能です。また、優秀な臨床工学技士がいますので、24時間急性血液浄化には対応します。急性血液浄化のindicationについては私がエビデンスに基づいて吟味しています。化膿性胆管炎を併発する閉塞性黄疸症例も豊富で、緊急内視鏡処置は時間

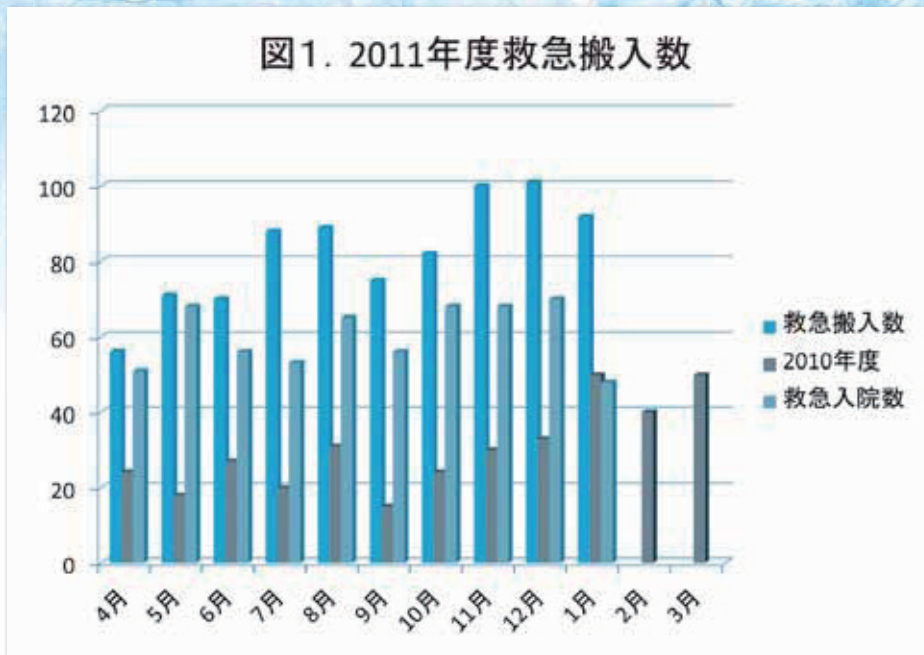
を問わず施行しています。2011年1月～12月期にはのべ80症例の胆管処置を施行しました。吐下血等の止血術も含め、辻川教授、藤井先生には常々時間外勤務をお願いしているところです。大学病院よりも症例は多いと思いますので、消化器内科志望の若い先生にはよいトレーニングの場を提供できると思います。

脱水、溢水やそれに随伴する高Na血症などの電解質異常を呈する症例も多く、杉本准教授の腕の見せ所です。なかなか理論通りにはいかず頭を悩まされておりますが、高齢であるがゆえの見たことのないような電解質異常もあり、前野先生とともに腎機能、内分泌代謝両面からのアプローチしていただいております。

残念ながら急性期脳梗塞のtPA診療は常勤脳神経外科医が不在のため当病院では不可能ですが、高齢の脳梗塞や神経症状を呈する症例は神経内科の前田先生、出原先生にお世話になっております。幸い24時間、MRIの撮影は可能ですので短時間でdiffusionやMRAまでの撮影をしていただけます。神経疾患は専門性が高く、初めて聞く病名に戸惑うこともしばしばです。今後、tPA診療等の積極的治療が当病院でも可能となることを祈るばかりです。

循環器救急は今後整備していかなければなら

図1. 2011年度救急搬入数



ない第一優先事項です。大西准教授が赴任されて以来、徐々に対応可能症例は増えておりますが、急性心筋梗塞では転送せざるを得ずストレスはたまる一方です。緊急カテーテル検査・治療が可能となるためには循環器医の増員は必須です。やはり総合病院の核ともいえる循環器内科の充実を願ってやみません。ウイルス性心筋炎や感染性心内膜炎の症例は重症化しない限り当病院での治療が可能です。

これまで当病院は結核病棟を有していることもあり、呼吸器疾患特に呼吸器外科のDrがその屋台骨を支えておられました。そのため慢性呼吸不全症例、間質性肺炎症例、肺悪性腫瘍症例は多く、呼吸器内科医として仲川先生が相補する形で診療されています。したがって、在宅酸素療法を施行されておられる方の救急搬入も多く、NPPVやSIMVの呼吸器管理が簡便に施行できる人工呼吸器の導入も決定しました。

以上、まだまだ不十分な体制での救急医療ですが、病院スタッフの努力とやる気で充実させていきたいと考えています。

先日、人類の進化の過程で集団の規模が大きくなっていくという趣旨の内容をTV特集で放送していました。テナガザル、ゴリラ、チンパンジー、ヒトという進化のなかで、ゴリラは35頭、

チンパンジーは平均約65頭、そしてヒトは約150人規模の集団を形成し、その規模は大脳新皮質の体積割合に比例するというものです。残念ながら、現在の滋賀病院の常勤医師数はゴリラのそれにも達していません。われわれの大脳新皮質が退縮しないことを願いますが……。このように進化・成熟の過程で集団の規模が大きくなるのはもちろんですが、逆に集団が大きくなれば一気に成熟が進む場合もあります。医療現場にあてはめてみれば、医師数が充足されなければ高度に成熟した医療の提供は難しくなり、医師数が大規模になれば高度医療が提供できる可能性がひらけます。当院は平成25年4月には東近江医療センターとしてオープンする予定ですが、それまではサルのように一心不乱に働いて成熟を待つといったところでしょうか。これから多くの若い先生方が滋賀病院に集結し、救急を含めた東近江での医療を支えてくれることを願ってやみません。

第37回滋賀医科大学若鮎祭 収支決算報告書

第37回 滋賀医科大学若鮎祭 実行委員会

【収入】

(単位：円)

執行部	近江八幡蒲生郡医師会	¥10,000	¥4,683,077
	大津医師会	¥50,000	
	草津・栗東医師会	¥30,000	
	甲賀湖南医師会	¥10,000	
	湖北医師会	¥10,000	
	滋賀医科大学医師会	¥60,000	
	滋賀県医師会	¥50,000	
	東近江医師会	¥10,000	
	彦根医師会	¥10,000	
	守山・野洲医師会	¥20,000	
	和仁会	¥200,000	
	滋賀医科大学医学科後援会	¥300,000	
	滋賀医科大学看護学科後援会	¥150,000	
	滋賀医科大学同窓会「湖医会」	¥200,000	
	学内寄付	¥833,000	
	滋賀医科大学学生課	¥140,077	
	滋賀医科大学学生自治会	¥1,350,000	
滋賀医科大学体育会	¥1,200,000		
滋賀医科大学文化会	¥50,000		
預金利息	¥492		
総務局	模擬店出店料	¥360,000	¥360,000
広告局	パンフレット広告掲載料	¥2,026,000	¥2,026,000
広報局	学祭パーカー売上げ	¥1,360,911	¥1,360,911
企画局	縁日売上げ	¥59,000	¥96,700
	食堂ものづくり売上げ	¥28,900	
	ソフトボール・フットサル参加費	¥8,800	
計		¥8,526,688	
前年度繰越金		¥4,216,916	
総計		¥12,743,604	

物品購入ご協力
服部 隆則 副学長
滋賀医科大学 学生課

【支出】

(単位：円)

執行部	ウインドブレーカー購入費	¥138,575	¥377,371																																																																																																				
	生協物品購入費	¥45,861																																																																																																					
	郵送・通信費	¥720																																																																																																					
	振込手数料等	¥13,860																																																																																																					
	ステージ上壁紙作成代	¥52,519																																																																																																					
総務局	大道芸人	¥50,000	¥78,221																																																																																																				
	お弁当代(ステージ業者、芸人等)	¥34,866																																																																																																					
	保険料	¥6,950																																																																																																					
	トラックレンタル料	¥34,020																																																																																																					
	衛生関係費	¥4,400																																																																																																					
広告局	警備関係費	¥13,625	¥89,737																																																																																																				
	物品・設備費	¥60,196																																																																																																					
	文具代・印刷代	¥4,814																																																																																																					
広報局	郵送・通信費	¥84,923	¥1,624,876																																																																																																				
	学祭パーカー製作費	¥1,062,031																																																																																																					
企画局	パンフレット製作費	¥499,590	¥1,143,380																																																																																																				
	PR関係費	¥63,255																																																																																																					
企画局	全体企画	ふれあい動物園	¥315,000	¥1,143,380																																																																																																			
		スタンラリー	¥38,854																																																																																																				
		細谷氏講演会	¥300,000																																																																																																				
		瀬戸上氏講演会	¥250,000																																																																																																				
	食堂企画	講演会講師書籍代	¥3,732																																																																																																				
		コピー代	¥2,382																																																																																																				
		献血活動	¥0																																																																																																				
		占い・アロマ	¥13,274																																																																																																				
		整体	¥1,890																																																																																																				
		後援会	¥360																																																																																																				
グラウンド企画	美容	¥5,304	里親	¥0	関係者交通費	¥30,460	ソフトボール・フットサル・ドッジボール	¥8,785	体育館企画	似顔絵	¥1,785	¥5,623,083	縁日	¥46,786	ステージ局	ステージ企画	ボールプール	¥27,399	医療機器体験	¥32,282	フラバン作り	¥7,096	プラネタリウム	¥22,580	麻雀	¥30,411	NAS健康教室	¥5,000	事務用品購入費	¥20,369	¥5,623,083	ステージ設営費	¥3,000,000	発電機	¥518,542	吉本芸人ステージ	¥1,365,000	ケイト・アレーヤ出演料等	¥40,000	女装企画	¥4,532	フィナーレ	¥9,817	イントロクイズ	¥1,705	クイズ	¥3,690	うたへた	¥168	King of Entertainment(KOE)	¥7,866	ビンゴ	¥46,125	sumsの絆	¥16,351	ギリギリsums	¥1,190	心のミスター	¥1,029	ミスコン	¥12,150	絆プロジェクト	¥6,934	わんぱく相撲大会	¥4,245	スマブラ	¥18,140	コスプレ	¥12,252	AKBクイズ	¥1,517	大胸筋	¥3,391	笑ってはいけない	¥899	プロ野球クイズ	¥1,995	パイ投げ	¥5,259	ワンピースクイズ	¥3,780	ガリガリSUMS	¥5,201	エスパー伊東	¥500,000	業者のお茶代	¥4,176	芸人、業者対応費	¥6,760	ものまね	¥0	計		¥8,936,668		次年度繰越金		¥3,806,936		総計		¥12,743,604	
	里親	¥0																																																																																																					
	関係者交通費	¥30,460																																																																																																					
	ソフトボール・フットサル・ドッジボール	¥8,785																																																																																																					
体育館企画	似顔絵	¥1,785	¥5,623,083																																																																																																				
	縁日	¥46,786																																																																																																					
ステージ局	ステージ企画	ボールプール	¥27,399																																																																																																				
		医療機器体験	¥32,282																																																																																																				
		フラバン作り	¥7,096																																																																																																				
		プラネタリウム	¥22,580																																																																																																				
		麻雀	¥30,411																																																																																																				
		NAS健康教室	¥5,000																																																																																																				
		事務用品購入費	¥20,369	¥5,623,083																																																																																																			
		ステージ設営費	¥3,000,000																																																																																																				
発電機	¥518,542																																																																																																						
吉本芸人ステージ	¥1,365,000																																																																																																						
ケイト・アレーヤ出演料等	¥40,000																																																																																																						
女装企画	¥4,532																																																																																																						
フィナーレ	¥9,817																																																																																																						
イントロクイズ	¥1,705																																																																																																						
クイズ	¥3,690																																																																																																						
うたへた	¥168																																																																																																						
King of Entertainment(KOE)	¥7,866																																																																																																						
ビンゴ	¥46,125																																																																																																						
sumsの絆	¥16,351																																																																																																						
ギリギリsums	¥1,190																																																																																																						
心のミスター	¥1,029																																																																																																						
ミスコン	¥12,150																																																																																																						
絆プロジェクト	¥6,934																																																																																																						
わんぱく相撲大会	¥4,245																																																																																																						
スマブラ	¥18,140																																																																																																						
コスプレ	¥12,252																																																																																																						
AKBクイズ	¥1,517																																																																																																						
大胸筋	¥3,391																																																																																																						
笑ってはいけない	¥899																																																																																																						
プロ野球クイズ	¥1,995																																																																																																						
パイ投げ	¥5,259																																																																																																						
ワンピースクイズ	¥3,780																																																																																																						
ガリガリSUMS	¥5,201																																																																																																						
エスパー伊東	¥500,000																																																																																																						
業者のお茶代	¥4,176																																																																																																						
芸人、業者対応費	¥6,760																																																																																																						
ものまね	¥0																																																																																																						
計		¥8,936,668																																																																																																					
次年度繰越金		¥3,806,936																																																																																																					
総計		¥12,743,604																																																																																																					

監査報告 第37回若鮎祭の会計監査を行ったところ、適正かつ正確に運営されていたことを報告いたします。

第36回 滋賀医科大学若鮎祭 実行委員長 石河 慎也

平成23年度 研究動物慰霊式を実施

11月8日(火)午後3時から、滋賀医科大学研究動物慰霊碑前において平成23年度の研究動物慰霊式を執り行いました。

慰霊式には、副学長をはじめ109名が出席し、出席者全員による黙禱を行った後、動物生命科学研究センター長、利用者会議議長の相見良成准教授より慰霊の辞が述べられました。

その後、出席者全員による献花が行われ、過去一年間(平成22年10月～平成23年9月)に実験に供された動物の御霊の冥福を祈りました。



研究動物慰霊碑



献花

慰霊のことば

本日、研究動物慰霊式を行うにあたり、貴重な生命を医学研究に供された動物に対し、深い感謝を捧げるとともに、喜んで御冥福をお行いいたします。

過去一年間に実験に用いられたマウス10,532匹、ラット1,118匹、スナネズミ5匹、ハムスター25匹、モルモット5匹、ウサギ2匹、イヌ9匹、ブタ13匹、リル5匹、合計12,518の御霊が、本日、新たにこの慰霊碑に納められることになりました。 盛んで御報告申し上げるとともに、これら動物達の御冥福を重くお祈りいたします。

牛きと動物を用いる動物実験は、医学・生物学・獣医学の発展に大きく貢献してきました。しかし、「人間は自らの健康・福祉のため」というだけで動物たちを犠牲にしてよいのか、さらに、どのような理由があれば動物実験は一切行うべきではないとする動物愛護を強く主張する厳しい意見があることを我々は決して忘れてはなりません。

我が国では、自子と動物愛護は「相性の悪い氷炭データ」を得るための条件として両立すべきものであり、動物実験の側面のみから法規制することは適切でないとの考えのもと、動物実験の適正化に対する取り組みは研究機関ごとの自主規制に委ねられてきた。しかしこれに対して、「自主管理による適正化の社会的基盤が明確でない」とあるいは「適正に管理されていることを社会に対して説明するための透明性が欠けている」との指摘がありました。その為、自主管理を実効性あるものにするため、日本学術会議がガイドラインを策定し、2006年の「動物の福祉および管理に関する法律」いわゆる動物愛護管理法が改正され、Rが順文化され、その後、2008年には改正法の施行に伴い、環境省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省がそれぞれ所管する研究機関に向け動物実験基本指針を制定し、本学もそれに沿って平成19年に「滋賀医科大学・動物実験基本指針」を制定しました。

本学の魅力を、あなたの声で、伝えてみませんか？

広報活動に関心がある、ボランティアによる
「学生入試広報スタッフ」を求めます！！

■**応募資格**

- 本学学部学生であること（学年は問いません）
- 勉学と両立しながら学生入試広報スタッフとして、良識ある行動をとれること
- 本学の入試広報活動方針を理解し、その方針に反しない行動をとれること

■**登録受付期間**

随時、受付を行います

■**登録の方法**

学生ボランティア申込書（入試室にて配付）にて申込を行っていただき、登録します

学生入試広報スタッフ募集

学生入試広報スタッフの活動内容

1. オープンキャンパスにおける、学生相談コーナーでの相談員
2. オープンキャンパスにおける、学内施設案内
3. 入試説明会（入試ガイダンス）における、学生相談コーナーでの相談員
4. 高校訪問における、卒業生から大学紹介
5. 「ホームページ」や「大学案内」（在学生からのメッセージ）原稿作成
6. 出身高校訪問による広報活動（夏休み等を利用し入試広報を行う。）



問い合わせ先

滋賀医科大学 学生課入試室 入学試験係

電話 077-548-2071

e-mail hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp



SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

勢多だより

MAR 29, 2012

編集後記

1年前、平成22年度学位授与式の翌日に東日本大震災が起こり、多くの方々が犠牲になりました。被災地域の復興もまだ途上であり、これからも長期間にわたる取り組みが必要です。このような人の力の及ばない災害が起こったことを思うとき、卒業生の皆さんが多くの人のためになる仕事をしてくれることを願うと同時に、卒業生の一人一人が自らも健やかに幸せに毎日を過ごしてくれるようにと願い、またそのために大学ができることは何なのかと考えます。

勢多だよりが、在校生や教職員と卒業生の架け橋になることを願っています。

編集委員長 宮松 直美

(勢多だよりの由来)

勢多は勢田、世多、瀬田とも書かれるが、古代、中世の文献では、勢多が多用されている。それに勢多は「勢（いきおい）が多い」という佳字名称である。従って、いきおいが多かれと願う本学関係者の想いにぴったりということで、瀬田とせずに、あえて勢多とした。

(題字は、故 脇坂行一初代学長による)

勢多だより No.92

発行年月日：平成24年3月29日

編集：「勢多だより」編集担当者会議

発行：滋賀医科大学広報委員会



滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

学章の説明

「さざ波の滋賀」のさざ波と「一隅を照らす」光の波動とを組み合わせたもの。
「中心に向かって、外からさざ波の波動－これは人々の医への期待である。外に
向かって中心から一隅を照らす光の波動－これは人々の期待に返す答えである。」